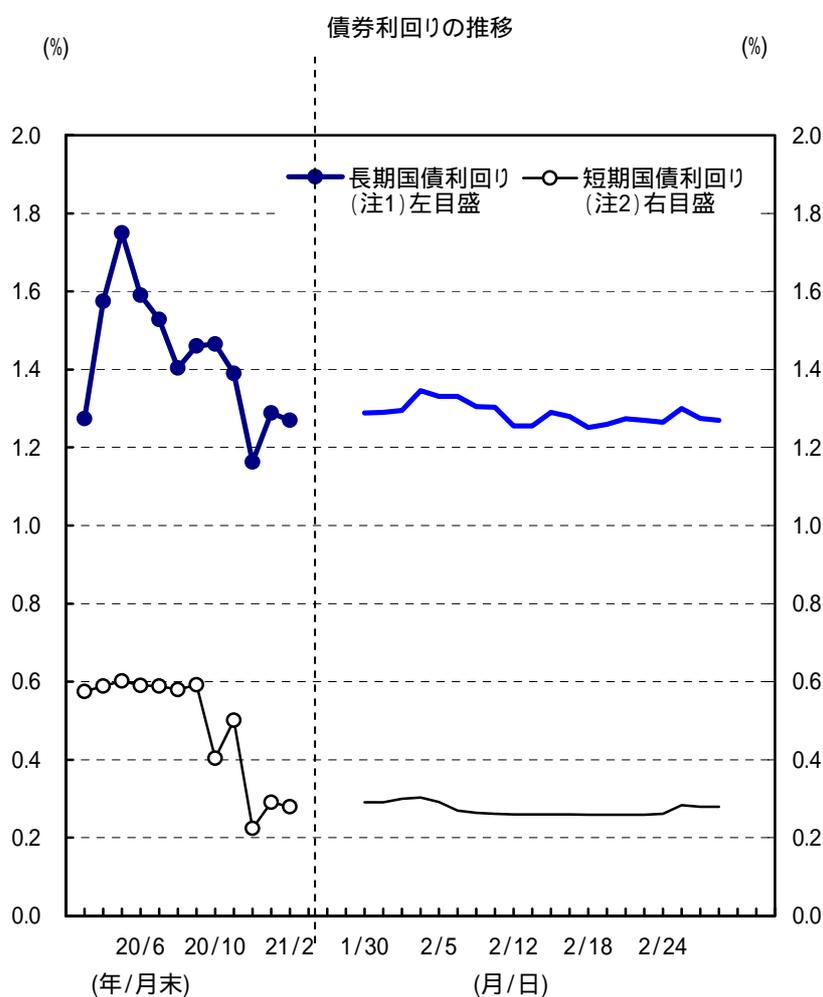


## 平成 21 年 2 月の公社債市場

### ( 1 ) 流通市場

10 年国債の利回り（注 1）は、日本銀行による銀行保有株の買取再開の公表、景気対策の原資としての国債増発を見越した需要悪化懸念等から上昇を示す場面も見られたものの、日経平均株価が続落し、先行き不安の解消には至らないことから上昇は抑えられ、概ね 1.3% を挟むレンジ内で推移した。

国庫短期証券の利回り（注 2）は、動意の乏しい中、月中を通じて概ね横ばいに推移した。



(注1) 長期国債(10年)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値の  
 平均値(単利)。

(注2) 国庫短期証券(3か月)直近発行に係るものの公社債店頭売買参  
 考統計値の平均値(単利)。

[平成20年2月の主なトピックス]

日付	トピックス
2月2日	<p>日本銀行 初めての残存期間別の国債買入を実施            残存期間1年以下の応札額は7551億円、落札額は2304億円            残存期間1年超10年以下の応札額7953億円、落札額は2007億円</p> <p>米財務省 四半期(1-3月期)の政府借入所要額の見通しが約4,930億ドルになると発表</p>
2月3日	<p>日本銀行 政策委員会開催            金融機関による今後の株式保有リスク削減努力を支援し、これを通じて金融システムの安定確保を図る観点から、銀行保有株の買取を再開することを決定</p> <p>米国 米国債10年債入札結果が利回り2.88%となって低調            2日の政府借入所要額の見通しと併せて米国債増発を見越した需給悪化懸念が生じて米債安に。</p> <p>米国 12月仮契約住宅販売指数 前月比6.3%増</p>
2月4日	<p>国庫短期証券入札結果 募入平均利回りが0.3063%となり、12月以来の水準に。</p>
2月10日	<p>米国 最大1兆ドルの不良資産の買取など、新たな金融安定化策を発表するも、不良資産の買取価格の具体的な決定方法が示されず。            先行き不安からいわゆる質への逃避に。</p>
2月12日	<p>1月企業物価指数 前月比-1.0% 前年比-0.2%</p>
2月16日	<p>第4四半期GDP(1次速報) 前期比-3.3% 年率-12.7%            GDPが悪化したものの、政府による追加経済対策が予測され、景気対策の原資としての国債増発を見越した需要悪化懸念から債券安に。</p>
2月19日	<p>日本銀行 金融政策決定会合開催(2月18日~2月19日)            全員一致で現状の金融政策を維持することを決定            企業金融支援策の拡充(企業金融支援特別オペレーションの強化、社債買入れの決定等) 金融市場安定化のための時限措置の延長(米ドル資金供給オペレーションの実施期限の延長等)の措置を講じた。</p>
2月24日	<p>バーナンキ米連邦準備理事会議長 上院銀行委員会で、米金融機関の国有化が回避可能との見方を示唆 同発言を受けて内外株価が反発</p>
2月27日	<p>1月鉱工業生産(速報値) 前月比-10.0%</p> <p>1月全国消費者物価コア指数 前年比0.0%</p>

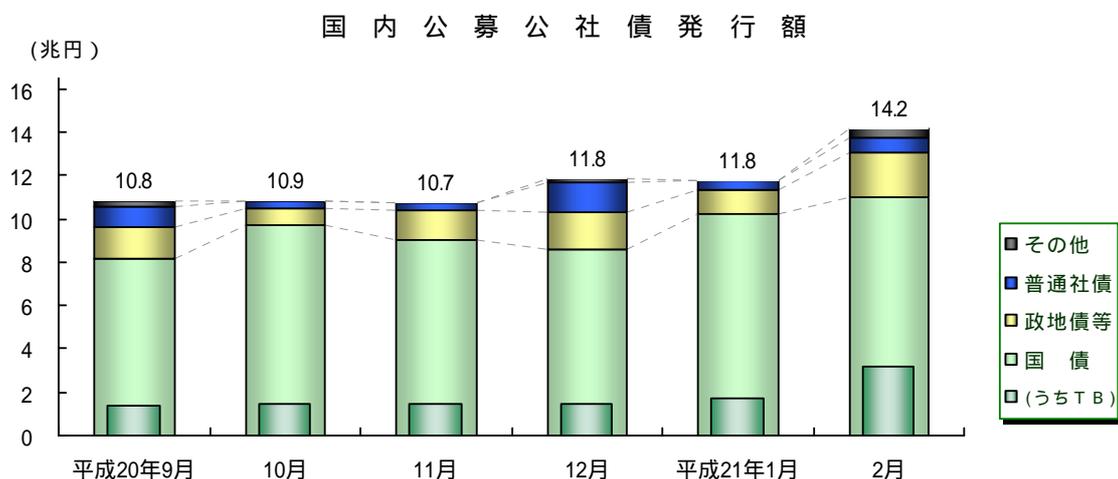
日付	長期国債(注1)		短期国債(注2)	
		参考統計値		参考統計値
1月30日	298回債(発行済)	1.289	1回債	0.291
2月2日		1.290		0.291
3日	298回債(6日発行)	1.295	3回債	0.300
4日		1.346		0.303
5日		1.331		0.292
6日		1.331		0.270
9日		1.305		0.264
10日		1.303	5回債	0.262
12日		1.255		0.260
13日		1.255		0.260
16日		1.290		0.260
17日		1.280		0.260
18日		1.251	6回債	0.259
19日		1.259		0.259
20日		1.274		0.259
23日		1.270		0.259
24日		1.265		0.262
25日		1.300	7回債	0.284
26日		1.275		0.280
27日		1.270		0.280

(注1) 長期国債(10年)直近発行ものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

(注2) 国庫短期証券(3か月)直近発行に係るものの公社債店頭売買参考統計値における平均値の単利利回り。発表日は翌日付。

## (2) 発行市場

平成21年2月の国内公募公社債発行額は、14兆1,668億円となり、前月11兆8,160億円に比べて2兆3,509億円の大幅な増加となった。



- (注) 1. 国内で発行された公募債のみを対象として集計(払込日ベース)。  
 2. 国債は市中消化分。ただし、郵貯窓販分及び個人向け国債を含む。  
 3. 政地債等は、地方債、政府保証債、財投機関債及び地方公社債の合計。  
 4. その他は、転換社債型新株予約権付社債(CB)、資産担保型社債及び円建外債の合計。

## 国債

- ・ 今月は40年利付国債の発行月であったことや国庫短期証券の発行額が大きかったこと等から、発行額は増加した。

発行額(億円)	平成20年9月	10月	11月	12月	平成21年1月	2月	前月比
国債	81,463	97,282	90,200	85,856	102,065	110,226	8,162
(うち 割引短期国債)	(14,000)	(15,000)	(15,000)	(15,000)	(17,000)	(32,000)	(15,000)
(うち 個人向け国債)	(0)	(4,390)	(0)	(0)	(5,046)	(0)	(5,046)

(注) 億円未満は四捨五入(以下同じ)

## 地方債、政府保証債及び財投機関債等

- ・ 政府保証債の発行額が平成17年12月以来の7,000億円を超える高い水準の発行額となるなど、それぞれの発行額が増加した。

発行額(億円)	平成20年9月	10月	11月	12月	平成21年1月	2月	前月比
地方債	5,373	3,239	6,492	8,113	5,115	7,034	1,919
(うち 住民参加型)	(173)	(39)	(192)	(1,003)	(35)	(84)	(49)
政府保証債	3,700	4,100	3,400	5,600	4,300	7,485	3,185
財投機関債	5,433	450	3,884	3,767	1,490	5,738	4,248
地方公社債	100	0	0	0	200	501	301
計	14,606	7,789	13,776	17,480	11,105	20,758	9,653

## 普通社債

- ・一般事業債及び銀行社債の発行額がそれぞれ増加した。

発行額 (億円)	平成20年9月	10月	11月	12月	平成21年1月	2月	前月比
普通社債	9,839	3,520	3,150	13,338	4,990	6,280	1,290
(うち 個人向け社債)	(1,664)	(700)	(100)	(5,950)	(150)	(300)	(150)
電力債	2,350	2,200	2,450	950	850	700	150
一般事業債	5,989	620	300	8,545	2,440	3,500	1,060
NTT・JR・JT債	0	700	400	850	1,100	0	1,100
銀行社債	1,500	0	0	2,993	600	2,080	1,480

- (注) 1. 一般事業債には、放送債券及び投資法人債券を含む。  
2. 普通社債のうち個人向け社債は、個人向けであることを引受証券会社に確認できたもの。

## 円建外債、C B 及び資産担保型社債

- ・円建外債が平成 20 年 9 月以来の発行となった。

発行額 (億円)	平成20年9月	10月	11月	12月	平成21年1月	2月	前月比
C B	0	0	0	1,500	0	0	0
資産担保型社債	500	0	0	300	0	0	0
円建外債	1,963	0	0	0	0	4,404	4,404
計	2,463	0	0	1,800	0	4,404	4,404